

事業承継ネットワーク事業における親族内承継

支援機関 愛媛県事業承継ネットワーク事務局、愛媛県よろず支援拠点

支援内容 後継者兄弟の事業承継計画作成、法人成りの検討 支援区分 事業承継

小池ししゅう

事業者概要

社名／小池ししゅう
代表者名／小池 典子
業種／タオル刺しゅう加工業
所在地／今治市大西町別府2406-1
設立／平成元年3月
従業員数／5名



刺しゅう機 15頭9色機

支援に至る経緯

前代表者は昨年病没し、妻である現代表者の小池典子氏（以下「小池氏」という）が事業を引き継いだ。すでに小池氏の長男と次男が実質的にはタオル刺しゅう加工を担当しており、長男はデザインやパンチングを、次男は刺しゅう機加工や経営管理を行っていた。

今後は、後継者として長男と次男が事業を承継して行くにあたって、事業の拡大と安定に向けて法人成りし、母に任せている経営管理も引き継いでいけるように、自ら承継後の事業計画を作成することとした。そこで、予てから支援のあった愛媛県よろず支援拠点と共に、愛媛県事業承継ネットワーク事務局の承継COが第一次計画作成の支援に参画した。

支援内容

小池氏から、長男と次男に事業を承継するにあたって、個人事業の法人成りを行い、事業と資産を法人へ引き継いだ後に、代表者の変更という形で経営を承継する計画を提案した。

まず、法人とした場合と、個人事業を継続した場合の費用負担や税制上の比較検討を行った。

その後、法人成り時の諸税の負担や、法人の設備投資計画として刺しゅう機の更新と導入、人材の確保、タオル会社からの受注見込み、役員や金融機関からの借入や資金繰りなどを予測して予想損益計算書や予想貸借対照表の作成、予想株価の算定を行った。

法人成り後、株価が低い段階で社長の交代と株式の贈与を行うという計画を一次案として小池氏、長男、次男と共に作成した。



フリーハンドのデザインと、高度なパンチング技術、刺しゅう機加工技術を結集して作成された、刺しゅう画

支援の効果

小池氏を中心として、事業承継後の構想として法人成りと諸資産の引継ぎの構想があったが、その手順と、生じる問題点、対処すべき課題などは漠然としていて、明確な認識ができない状況であった。

支援者が、その内容について課題を整理し、今後の予測を列挙説明することによって、小池氏、長男、次男は法人成りと事業承継について一連の対処すべき課題が明確になり、その意思決定の一助になった。

予想損益計算を行うことで、今後とも計画と実績を計数的に見える化しながら計画的経営を行っていくことの必要性をお知らせすることができた。

今後の展開

今後は、事業承継計画書の内容をさらに検討し、法人成りを進め、当事業が法人事業として定着した後に関係取引先の理解と協力を得ながら、事業承継の手続き、つまり長男、次男が社長、専務等として経営者になり、株式の引継も併せて行っていく。

後継者は現行のタオル刺しゅう加工を基礎に、これまで培った刺しゅう加工技術をさらに新たな分野に展開する意欲をもって事業に臨んでいる。

事業者の声

父と母が始めた刺繍の仕事に私たち兄弟も従事して20年が経ちます。この20年の中で様々な経験と出会いが有り今日に至ります。父の他界により事業継承の事やこれからの事業拡大に伴った法人成りについて家族で話している中で支援者に出会い、ご相談させて頂きました。

私たちの中で漠然としたこれからのイメージはあったものの、お二人に提示して頂きました資料を拝見させて頂く事によって今後の目標や売り上げ等がハッキリと見える事が出来ました。

これからも兄弟で力を合わせて目標に向かって邁進していきたいと思っております。



兄 小池 克自



弟 小池 敬亮

支援者の声

小池氏とは事業承継セミナーに出席していただいたご縁もあり、岡本コーディネーターと共に、後継者ご兄弟の法人成りを前提とした事業承継計画書作成のご支援を担当いたしました。刺しゅうデザイン、加工技術に優れたご兄弟が、経営管理手法も学ばれて今治タオルから信頼を得ていかれると思います。

愛媛県事業承継ネットワーク事務局
承継コーディネーター
阿部 芳正愛媛県よろず支援拠点
コーディネーター
岡本 将広